

麗しの島と八田與一 台湾

ポルトガル人が名付けた麗しの島（フォルモサ）台湾には、原住民の高山族が住んでいた。6世紀中国隋朝の時代に大陸南部から人が渡り住みつき始めた。

15世紀から16世紀にかけヨーロッパに起こった大航海時代は、インド航路発見により各国は競ってアジアを目指したが、台湾を発見したのはポルトガル人と言われている。



オランダ人の築いた城赤嵌楼

オランダはアジア貿易の拠点としてインドに東インド会社を設立した。そして1624年台湾南部を占領しおよそ40年間植民地とした。

台湾の歴史で忘れてはならない人物は、日本とも深いつながりのある鄭成功（1624年～1662年）である。現長崎県平戸市で中国人の父と日本人の母の間に誕生している。明の軍人となり、1662年オランダ人を台湾から駆逐する武功をあげ、ここに鄭政権を樹立するも37歳の若さで熱病にかかり死去してしまった。鄭成功は明朝朝廷の信任も厚く人々から国姓爺と称され、台湾・中国では民族の英雄としてその評価は高い。時代は明朝から清朝へ移り、台湾は清朝に

より中国の福建省に取り込まれてしまう。

1895年、日清戦争が勃発し日本が勝利し台湾は日本の植民地となるも、第2次世界大戦では日本が敗戦国となり台湾は再び中国領となった。



首都台北にある蒋介石像

1949年中国国内では毛沢東（1893年～1976年）率いる共産党と蒋介石（1887年～1975年）率いる国民党が争い内戦となったが、国民党が敗れ中国本土から台湾へ移ってきた。

国民党は国名を中華民国とし、国民党を率いた蒋介石を初代中華民国総統に選り台北を首都として以来今日に至っている。蒋介石は死去するまで国家元首の座にとどまった。

欧州へ向かう航空機の中で、隣り合った年配者が元自衛官だがと、自己紹介しながら八田與一を知っているかと聞いてきた。とっさにレスリングの……と答えた。

いや違うんだ。ずいぶん昔のことだが自衛艦で台湾を表敬したことがあったが、その折日本人八田與一は台湾の恩人だと幾人もの現地の方から聞いて、帰国してどんな人なのか調べてみたんだ。あの時代に尊敬のまなざしで語られる日本人なんて、あまり居なかったからね。

国際貢献とは八田與一のような人物を指すんだね。何しろ現地の人々の尊敬を今に集めているのだよ、以来この年まで彼の生きざまを手本として任務にも励んだし、私の人生の手本なんだと締めく

くった。

ちょっといい話であった。台湾には長い付き合いのある友人もいるが、友人から八田與一の名前を聞いたことが無く帰国し調べてみた。そしてなぜ今まで耳にしなかったのだろかと思うほど、同胞として誇りに思える人物であることを知った。

先ごろアフガニスタンの開発に取り組み、現地の人たちから慕われ尊敬を集めていた日本人医師の中村哲氏がテロによって命を失った。中村氏の無私な行動の軌跡と台湾に貢献した八田與一の業績とが重なった。



元日本台湾総督府 現中華民国總統府

八田與一（1886年～1942年）は金沢市で生を受け東京大学で土木建築学を学び、水利技術者として台湾総督府に赴いた。それから台湾各地を調査して巡り、台湾南部の嘉南大圳の広大な土地が、時には日照りなどによる水不足で甚大な被害を受けていることを知り、この問題に取り組みここを豊かな穀倉地帯に変えるための壮大な灌漑事業を計画した。

学んだ知識を振り絞り計画を練り、これならいけると確信し、次いで巨額な資金の手当てに腐

心した。そして日本からの資金援助に加え、台湾の受益者からも応分の費用を分担してもらうことになりようやく着工にこぎつけた。

川を堰き止め、隧道を掘るなど非常に大掛かりな大工事が始まった。八田與一は責任を全うするため現地に家族ともども住みつき、10年の歳月をかけ完成させたのが現在の烏山頭ダムである。ダムの水は網の目のような水路によって広大な地域を潤し一帯を穀倉地帯に変えた。

時が過ぎ日本政府の命令で八田與一はフィリピンの灌漑調査に向かう途上、交戦中の敵潜水艦の攻撃を受け、船が沈没し命を失った。



台湾李登輝總統来日

夫が亡くなったことを知らされた夫人は、夫が心血を注いで完成させた烏山頭ダムに身を投げ、自らの命を絶った。文献で調べながらこのことを知った時、明治の元勲乃木希典大将の夫人のようだと思った。この夫にしてこの夫人あり夫もすごいが夫人もすごいと思わず襟を正したものである。奇しくも乃木大将はかつて台湾総督を務めたことがある。

烏山頭ダムの公園内には地元の人によって恩人八田與一の旧宅が再建され、八田與一の銅像が建てられている。現

在に至るも毎年命日の5月8日には歴代の台湾の指導者が参列し慰霊祭が執り行われている。台湾總統が来日したおり、わざわざ八田與一の故郷金沢まで出向いたこともある。

台湾では中学生の教科書にも取り上げられ、台湾で果たした役割や業績が紹介されている。八田與一は元自衛官がいう通り、忘れてはならない誇れる日本人なのである。